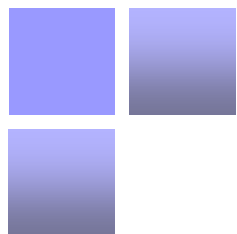


平成19年度科学技術情報研修



専門資料各論(1)

文部科学省 科学研究費補助金
研究成果報告書

国立国会図書館 関西館
文献提供課 参考係

田中 俊洋



構成

- 1 科研費の概要
- 2 研究成果の公開
- 3 国立国会図書館での所蔵と利用
- 4 NDL-OPACの検索
- 5 研究課題の情報を調べるには
- 6 文科省科研費以外の成果報告書
- 7 まとめ
- 8 演習

1 科研費の概要

★科学研究費補助金(科研費)とは

- 国費による研究助成金の中核的存在
- 大学の研究者にとっては重要な資金源
- 対象は人文・社会科学から自然科学までの全分野
- 研究者の自由な発想に基づく学術研究を推進
- 競争的研究資金(新規課題の採択率は20~25%)

1 科研費の概要

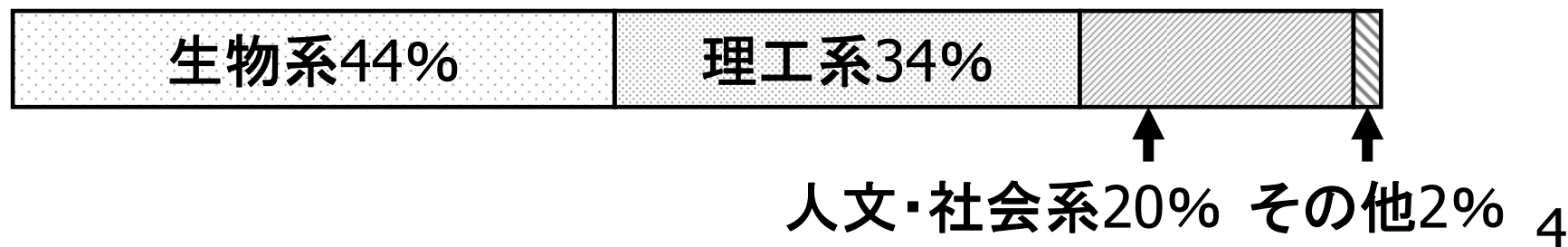
★平成19年度予算：1,913億円

- 国の科学技術関係経費の約5.4%
- 競争的研究資金の約40%

★応募件数・採択件数

- 応募(新規・継続) 119,369件
- 採択(新規・継続) 49,326件

★研究分野別配分状況 (採択件数ベース H19年度)

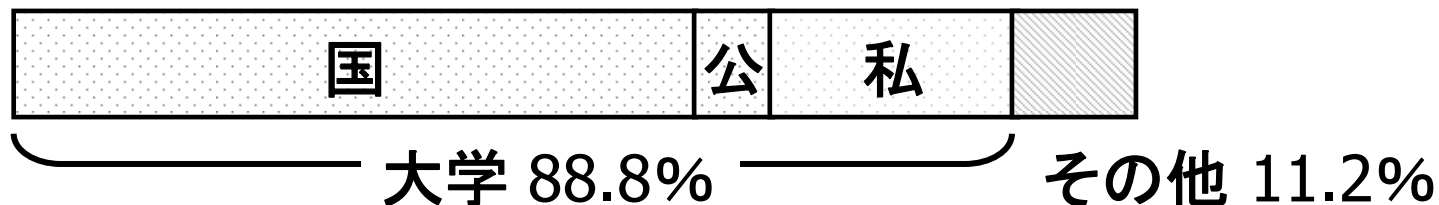


1 科研費の概要

★公募・審査・交付

- 運営主体は文部科学省と日本学術振興会
- 応募者の多くは、大学の研究者
- 平成16年度からは一部の企業研究者にも応募資格

研究機関種別応募状況(H19年度)



- ピア・レビューによる応募時の審査
- 研究課題は「課題番号」で管理される
- 1課題あたりの配分額は50万円～3億円程度

1 科研費の概要

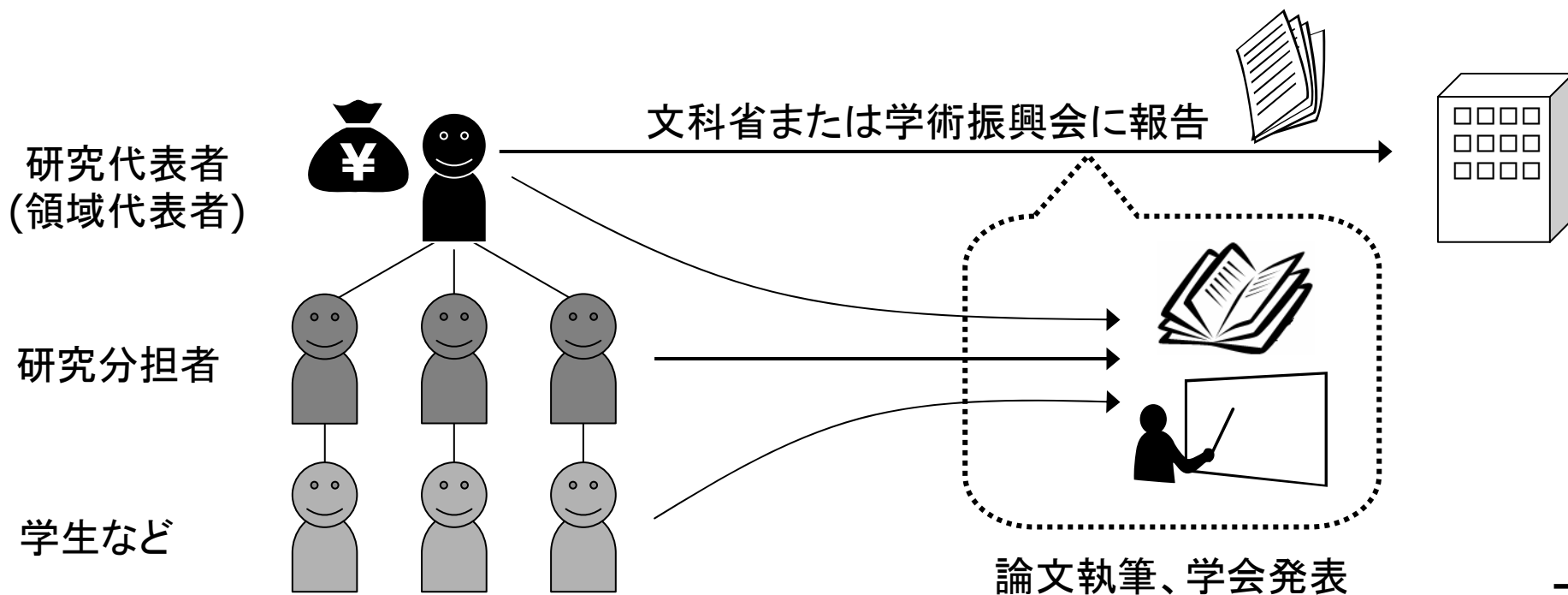
★研究種目

- いろいろな研究種目がある
 - 特別推進研究
 - 特定領域研究
 - 基盤研究 (S), (A), (B), (C)
 - 萌芽研究
 - 若手研究 (S), (A), (B), (スタートアップ)
 - 奨励研究
 - …
- 応募資格、金額規模、研究期間、成果報告の要件が異なる

2 研究成果の公開

★研究体制（複数人で研究する場合）

- 代表者は、研究分担者と共同で研究に取り組む
- 代表者は、成果をとりまとめて報告する



2 研究成果の公開

★報告書は3種類

①研究実績報告書

- 研究期間中の年度末に毎年提出。A4用紙2枚程度の書類

②研究成果報告書

- 研究期間の最終年度の翌年6月末に提出
- これがいわゆる「科研費報告書」
- 提出の必要がある研究種目は限られている

③研究成果報告書 概要

- ②の報告書の要約版
- ②と同じタイミングで提出される

2 研究成果の公開

★報告書の入手手段

①研究実績報告書

- インターネットのKAKENで「実績報告」として公開(1985～)

②研究成果報告書

- 国立国会図書館関西館に直送され、一般の利用に供される
- 研究代表者の所属機関の図書館等で利用できることもある
- 市販されることはほとんどない

③研究成果報告書 概要

- インターネットのKAKENで「成果概要」として公開(1985～)

2 研究成果の公開

★成果報告書の特徴

- 構成や内容は多種多様
- ページ数もいろいろ
- 理科系では、雑誌論文の抜き刷りを多く収録
- オリジナルの文献を収載することもある

3 国立国会図書館の所蔵と利用

★「研究成果報告書」を、主に関西館で所蔵

－ 提出義務がある研究種目のみ

- 特別推進研究
- 特定領域研究
- 特別研究促進費
- 基盤研究(研究期間2年以上)
- 若手研究(S)(研究期間2年以上)
- 学術創成研究費(研究期間2年以上) (2007年度の場合)

※ 研究種目の名称や提出義務の有無は年度によって異なる

※ 提出義務があっても提出されないことが稀にある

3 国立国会図書館の所蔵と利用

★昭和50年頃から収集開始

- 文部省に提出された研究成果報告書を
国立国会図書館へ一括納入するかたちで収集
- 平成16年以降は関西館に直接送付されている
- 研究期間終了の翌年～翌々年にかけて利用可能に

★分類と整理

- 昭和58年前後から、分類記号「Y151」を付与
- NIIのデータ(KAKEN)をもとにして書誌データを作成

3 国立国会図書館の所蔵と利用

★図書館間貸出

可能です。

(資料の状態によってはお断りすることも)

★複写

可能です。

1著作からなる場合、1冊全文複写可能

複数著作からなる場合、1冊の半分まで複写可能

4 NDL-OPACの検索

★ **一般資料の検索／申込み** の画面 ⇒ 和図書

★ 検索に使う言葉と、その入力欄

検索語として…	入力欄
研究課題名・研究種目	タイトル
研究代表者名・研究機関名	著者・編者
課題番号	拡張検索で「標準番号」を「科研費課題番号」に指定
キーワード(研究代表者が付与したもの)	件名
科研費報告書に絞りたいとき	分類記号欄に「Y151」 (S58以前の一部は除外される)

4 NDL-OPACの検索

研究代表者名？ 研究分担者名？ 学生？

引用例)

研究課題名？ 報告書収載の論文名？

佐藤親次:

能面を用いた表情認知の感性工学的研究

平成10年度－平成11年度科学研究費補助金

(基盤研究(C) 課題番号 10835002)

研究成果報告書

「科学研究費補助金」

⇒英語では "Grant-in-Aid for Scientific Research"

4 NDL-OPACの検索

書誌データの例)

	請求記号	Y151-H10835002
課題名 →	タイトル	能面を用いた表情認知の感性工学的研究
研究代表者名 →	責任表示	佐藤親次,筑波大学
研究期間 →	出版年	1998-1999
	注記	文部省科学研究費補助金研究成果報告書
	注記	その他のタイトル: 研究種目 基盤研究(C)
課題番号 →	科研費課題番号	10835002
	個人著者標目	佐藤親次 サトウ,シンジ
キーワード (研究代表者が 付与したもの)	非統制件名	表情認知
	非統制件名	能面
	非統制件名	顔
	非統制件名	感情
	非統制件名	生徒の精神保健
分類記号 →	NDLC	Y151
	書誌ID	000007066386

4 NDL-OPACの検索

★ご注意

- 研究分担者名では検索できない
- 研究成果報告書の中に収録されている
個々の論文の著者名や論題では検索できない



研究**代表者名**や研究**課題名**がわからないときは、
研究課題の詳細について事前調査が必要

5 研究課題の情報を調べるには

★KAKEN (<http://seika.nii.ac.jp/>)

- 国立情報学研究所(NII)が文部科学省、日本学術振興会と協力して作成・公開しているデータベース
- GeNii:NII学術コンテンツ・ポータル の中の1コンテンツ
- 採択課題、**研究実績報告**、**研究成果概要**を収録
- **研究分担者名**や研究概要等、
データベースの全文から検索できる

5 研究課題の情報を調べるには

★冊子体

『文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧』(ぎょうせい)

- 研究種目、研究分野ごとの課題名・研究代表者一覧表を収載

『学術月報』増刊(日本学術振興会)

- 昭和54年度以前の採択研究課題を調べる場合

6 文科省科研費以外の成果報告書

★厚生労働科学研究費補助金研究報告書

- 分類記号Y155を付与して整理(平成12年11月～)
- <http://mhlw-grants.niph.go.jp/>
- 国立保健医療科学院作成のデータベース
- 研究報告書の概要版(抄録)は平成9(1997)年度分から、
本文(画像データ)は平成10(1998)年度分から閲覧可
(一部未収録報告書あり)

★その他にも・・・

科学技術振興調整費、地球環境研究総合推進費...etc.

7 まとめ

- 科研費は、国費による研究助成制度の中核
- NDLでは、提出義務がある研究種目の
「研究成果報告書」を所蔵
- NDL-OPACでは、研究課題名または
研究代表者名で検索
- 研究課題についての詳細はKAKENで調査
- 「実績報告」と「成果概要」はKAKENで閲覧

8 演習問題(1)

早稲田大学の吉村作治教授が、2000年から2002年にかけて科研費を受けて行った研究の成果報告書が見たい。

8 演習問題(2)

CiNiiで見つけたこの文献を入手したい。

収録誌:

平成8・9・10年度 文部省科学研究費補助金
(基盤研究(A)(2)) 研究成果報告書
(1999)

書誌情報:

防災意識と認知的行動
天ヶ瀬正博